

研究開発課題別中間評価結果

1. 研究開発課題名：触原色に立脚した身体性メディア技術の基盤構築と応用展開

2. 研究代表者：舘 暁（東京大学 名誉教授）

プログラスマネージャー：野村 淳二（科学技術振興機構）

3. 中間評価結果

本研究開発課題は、新市場創造に向けて、触覚を視覚、聴覚に並ぶ情報メディアとして利用できるレベルに引き上げるべく、触覚情報の記録・伝送・再生を可能とするハードウェア、ソフトウェア、ネットワークなどの基盤技術の研究開発を通して、「一体型触覚伝送モジュール」、「ウェアラブル触覚インターフェース」、「身体性コンテンツプラットフォーム」、「身体性テレグジスタンスプラットフォーム」の構築を進めている。

これまでに、各種触覚モジュールの試作と触覚表現アルゴリズムの開発を進めるとともに PlayStationVR を利用した全身触覚スーツを各種展示会で提示し、コンセプト実証を進めている。また、新産業構築にむけて触覚ハッカソン、身体性メディアコンソーシアムや共創ラボの設立など、成果の受け手となる開発者の教育活動・技術普及活動を積極的に進めている。さらに、テレグジスタンスを手軽に体験活用できるツールキットを開発するとともにベンチャーを設立し、テレグジスタンスの応用展開に向けて活動体制の構築が進んでいる。TELESAR V は、次期 XPRIZE のテーマ選定のために開催された XPRIZE Visioneers Summit にて高い評価を得たこともあり、ANA AVATAR XPRIZE が 2017 年 XPRIZE のテーマに選定されている。

ACCEL 後半ではより高い訴求力を持つ TELESAR VI の開発や触覚モジュールのブラッシュアップとともに、各分野への応用展開に向けたコンセプト実証を進めることで、今後の研究開発の成果を社会実証につなげることが期待できる。特に、実社会での具体的課題を掲げ、その実現に向けた研究開発に注力いただきたい。

以上